

# かしわ

## 「学校給食」と「食育」

—生き抜く力の源は「食」—

校長 北村耕一

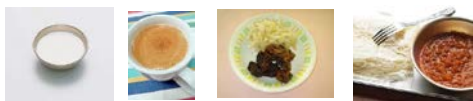
4月11日から今年度の給食が始まりました。「かしわ」第3号で紹介しましたが、今年度、本校の調理員さんはお二人とも着任された方です。本校より大きな小学校から異動されてきて、小さな調理室で、毎日、美味しい給食を作ってくれています。

学校給食は調理員さんのみで作っているのではありません。栄養士さんが専門的に栄養のバランスを考えて、作ってくれています。栄養士さんは食材についても産地から食材の「旬」、料理の由来等まで、幅広い知識をお持ちです。検食時に私はいつも様々なことを教えてもらっています。

中学校の教師だった私は、自分が小学生の時には学校給食を食べていたのですが、中学生以降は食べたことがありませんでした。私の学校給食の思い出として残っているものは、「脱脂粉乳」、「抹茶シロ」、「鯨肉の竜田揚げ」

「ソノニユム」(写真の左からの名称)です。保護者の皆様には聞き慣れ

ないニユムだ  
と思います。



小学校卒業後、学校給食を再び食べたのは、8年前にろう学校の教頭として赴任した時です。約40年ぶりの「再会」でした。

全国学校給食会連合会のHPによると学校給食の始まりは、明治22年山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に無料で学校給食を実施したことが学校給食の起源とされているそうです。今(平成28年)から127年前のことです。



## No. 4 平成28年5月17日 校長室の胡蝶蘭

「食」が満たされると、無頓着な私でも幸せを感じます。子どもにとっては心身共に重要なものだと思います。その大切な「食」について、「食育」指を担ってくれている栄養士の上村先生に、学校給食と家庭での食生活について述べていただきました。

## 本校の食育指導

—学校給食を通じての食育—

学校栄養士 上村 仁美

給食はただのお昼ご飯ではありません。もちろん、「安全でおいしい」ことが前提ですが、衛生的に調理ができること、季節感・行事食・日本食の大切さ・海外の料理・食事のマナーのことなどたくさんのことを考えながら献立を考えています。

そして、「食」という字は「人」を「良く」と書きます。食べるということは、人の体と心を育てます。また、色々な人と食べることで人と人をつなぎ、食文化を伝えることもできます。ろう学校では、同じ場所で幼稚部から教職員が一緒に食することができるので、とても良い環境だと思います。



ご家庭でお願いしたいことは、色々な食材に触れる機会を作ってください。一緒にお店に行って買い物をしたり、お料理をして一緒に食べる。これだけでも十分な食育の1つです。「うちの子は好き嫌いが多くて・・・」という話も聞きますが、大丈夫です。嫌いな食べ物があるのは仕方がないことです。嫌いなものも日常的に触れる機会や料理として出していれば、今は無理でも大人になったときには嫌いなものを克服することができます。学校給食でも嫌いなものを残すことが分かっているでも出す

ことがあります。色々と調理方法を工夫して出しています。もしかしたら給食の献立の中にも良い案が見つかるかもしれません。食に関して何か疑問に思ったり相談したいことがあれば遠慮なく声をかけてください。

## 中 高 等 部 の 遠 足

教諭 宮前 こそえ

雲ひとつない五月晴れの中、中高等部はザン牧場へ。

Yさんは予備日が晴れるようにと、てるてる坊主をつくってくれていました。Mさんも、給食や授業など事あるごとに遠足の話。Kさんも「明日は遠足」と前日に話してくれました。

そんな願いが天に通じたのか、予備日は快晴。真夏を思わせる陽気でした。

フェリーの展望デッキから綺麗な富士山がくっきりと見え、360度のパノラマビュー。フェリー・JR・シャトルバスと多様な乗り物に乗り、たどりついたザン牧場。

かわいらしい園児たちや家族連れでにぎわっていました。『羊の大神行進』150頭の羊が牧羊犬とともにグイグイに行進する様子は圧巻でした。ふれあいタイムでYさんはおそろおそろ羊の毛を触っていました。



『シーショー』本場ニュージーランドからやってきた羊のショー。食いしん坊な羊たち。担当の人が目を離した隙に、えさを食べてしまったり、牧羊犬が吠えていても我関せずと食べる羊。羊の毛刈りを心配そうにみつめるMさん。そんなMさんがステージにあがり、子羊にミルクをあげるシーンもあり、ほほえましく感じました。

待ち時間には、先生たちとしりとりを楽しみ、一日のんびり楽しめた春の遠足でした。

## 小 学 部 春 の 遠 足

教諭 白取 稔

5月12日(木)雨のために延期になっていた『ルビの丘』に2年ぶり行って来ました。京急久里浜駅に集合し

てくる子どもたちはみんな笑顔でした。

楽しみにしていたのですね。暑いくらいの晴天、三浦海岸駅を出たあたりから車窓に富士山がきれいに見えました。

子どもたちが楽しみにしていた自由遊びは新しくできたパルーツでした。カバ、カガル、ポニーなどたくさんの動物に直接触れ合うこともできました。みんな大満足していました。

今年も5・6年生を班長にして、3つの班で行動しました。集合する時も、乗り物に乗る時も、食事の時も、班長が大きな声をかけて集合させました。

クはパーク広場で『どろけい』を班対抗で行い大いに盛り上がりました。お腹が空いたところでお弁当を食べました。とても美味しかったです



## 横須賀市立学校・教育委員会合同防災訓練

教諭 鴨 佐和子

10日(火)に一回目の避難訓練が行われました。子どもたちは、みんな「お・か・し・も・ち」を守って、落ち着いて避難できていました。放送の聞き方、お話を聞き方の態度もとてもよかったです。今回は、学校評議員さんもみえていて、久米先生には「落ち着いてできました。」とお褒めの言葉をいただきました。また、25年前にろう学校で実際に火事が起きたときのお話もしていただきました。「訓練をやってもいつものようにはなかなかできない」ことなど、実感がこもっていて、子どもたちもしっかり聞いていました。

校長先生からは「教室で危ない場所はどこか？」という問題がだされました。みんなよく分かっていて、校長先生から丸をもらってとても嬉しそうでした。これからも、繰り返し避難訓練を行い、災害時に自らの安全を確保するための行動ができるようになって欲しいと思います。

